



地域ボランティアとの連携のしかたを学ぼう!

郡山市立橋小学校と橋地域公民館の実践

県中地区でも公民館訪問が始まり、先日、郡山市橋地域公民館を訪問しました。橋地域公民館は「我が街たちばな」を合い言葉に、地域住民が主体的に公民館事業に関わり、活発な運営をしている公民館です。今回の「けんちゅう with!」では、橋小学校と橋地域公民館が実践している「学習サポートボランティア」の実践についてご紹介します。

橋小学校・橋地域公民館「学習サポートボランティア」

橋地域公民館では、毎年3月に「学習サポートボランティア」の登録募集のチラシを地域の方に配布して、学習ボランティアを募ります。登録を希望される方は、公民館へ申し込みます。ボランティアとして登録されると、学校の要請に応じて公民館から連絡が行き、時間等で都合のつく方がボランティアとして橋小学校へ派遣されます。

学校が公民館へ人材派遣を要請(FAX)



公民館がボランティア人材バンクから人選



当日の活動へ参加!



橋小学校2年生昔遊びへボランティアの協力



Check!

目からウロコ!

- ① 学校からは事前に活動内容や人数等を公民館へFAXで伝えるので簡単。
- ② 公民館の方が当日参加可能な方へ連絡調整をしてくれる。
- ③ 当日は、始まる前に簡単な打合せを行って、活動がスタートできる

- 前もって学校の年間行事や協力いただく主な活動を公民館へ伝えておく必要があります
- 活動依頼がないとボランティアの方の力が発揮できません。計画的で持続的な活動が求められます。

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため4月当初の実施はできませんでしたが、例年では4月から運動会終了まで1年生の各学級に2名のボランティアの方が生活支援に入ります。着替えや片付け、移動、給食のお世話などに大変助かっているとの話でした。このように、学校と公民館の連携が密になり、ボランティアの活用がスムーズに行われるという点で参考になる実践でした。

ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業作品大募集!

～令和2年度キャッチフレーズ この想い 未来へとつなぐれ 十七字～

毎年恒例になりました「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」の御案内を各関係機関へ送付させていただきました。

新型コロナウイルス感染拡大防止につき、御家庭で過ごす時間も多くなりました。この時間を大切に、御家庭で十七字の作品作りを通して、親子がふれあうきっかけにしてみたいはいかがでしょうか?



- 【絆部門最優秀賞】
 - 子(小2) 「なに読もう まいしゅう土曜日 としよかんへ」
 - 母 「読む本の 変化に感じる 子の成長」
 - 子(中3) 「ごめんなさい 素直に言えず メールする」
 - 母 「メールでは 素直な娘に 苦笑い」
- 【絆部門優秀賞】
 - 子(小5) 「父とぼく 同じねぞうに 母笑う」
 - 父 「イビキまで 似てると言われ 照れわらい」
- 【県中担当者推薦】
 - 母 「点数と 順位上げると 母は言う」
 - 子(中2) 「体重と 血圧下げると 僕は言う」



作品募集期間：令和2年6月15日(月)～8月31日(月)まで

作品の応募は、「小・中・義務教育学校」「公民館」「社会教育施設」の方は、市町村教育委員会を通してお申し込みください。「県立学校」や「私立幼稚園」の方は、「県中教育事務所」へ御応募ください。たくさんの御応募、お待ちしております!

応募用紙は、県社会教育課のHPよりダウンロードできます。御活用ください。



社会教育課
ホームページ

Special Thanks!

お申し込み・御登録ありがとうございました

地域でつながる家庭教育応援事業

家庭教育応援企業推進活動・企業内研修の申込

日東粉化工業福島工場 様

日時：令和2年9月14日(月)

講演：子どもたちのより良い成長を願って

～自己肯定感をはぐくむ親のかかわり方～

講師：福島県学校教育相談員 山本 和宏先生

地域でつながる家庭教育応援事業

家庭教育応援企業・企業登録の申込

特定非営利活動法人 ぴいかあぶう 様

理事長：吉田 一也

住 所：郡山市静町

地域の子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりに取り組んでいる団体です。

発行・編集 福島県教育庁県中教育事務所総務社会教育課

TEL:024-935-1488 HP: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70210a/>

